

令和3年度 富山県小学校長会 研究大会



11月17日（水）に「令和3年度富山県小学校長会研究大会」を開催しました。開会式では水橋 渉 会長の挨拶に続いて、富山県教育委員会 荻野 佳子 教育長より激励の言葉をいただきました。

全体研修会Ⅰでは、「社会との連携・協働」委員会の高岡市立平米小学校 高田 淳一 校長が「小・中学校9年間の学びと育ちを支える教育課程の編成と取組の工夫改善」について研究発表を行いました。

また、全体研修会Ⅱでは、「新型コロナウイルスとの戦い：ワクチン接種から見えてきた課題」と題して、富山県衛生研究所 大石 和徳 所長による講演会を行いました。

大石所長は、新型コロナウイルスについて、「これまで想定外のことが相次いだ。現在県内では感染者ゼロの日が続いているが、今後、さらに悪いシナリオを想定して準備をしなければいけない。」と警戒を怠らないことの必要性を語られました。